

中宮中だより

No.9

令和元年（2019年）12月23日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

<終業式・・・新しい年、新しい学期に向けて>

○1, 2年生のみなさんへ

生徒会本部役員も交代し、いよいよ学校づくりの主役が3年生から2年生へとバトンタッチされた2学期でした。また1年生はあと3ヶ月で「先輩」となります。みなさんもそうだったように、新しい1年生は先輩の背中を見て成長していきます。

2年生も1年生も、これまで3年生が創り上げてきたこの中宮中学校を引き継ぎ、さらにすばらしい学校にしていく責任を負うこととなります。

各クラス、各学年で2学期の反省をしっかりとしたいと思います。数々の失敗もあったことでしょう。でも失敗することは誰にでもあるし、そもそも学校は失敗することから学び、1歩ずつ成長していくための場所なのです。

失敗をいつまでも悔やむ必要はありません。大切なことは同じ失敗を繰り返さないということです。みなさんの今後のさらなる成長を大いに期待しています。

○3年生のみなさんへ

さて、いよいよ自分の進路を決定しなければならない時期がやってきました。おそらく、みなさんの多くは、自分の希望する高校に受かるか受からないかということが一番気になっていることでしょう。もちろん、現実としてそのことは大切なことには違いありませんし、懇談の話題もそれが中心になっただろうと思います。

しかし、言うまでもなく「進路」は「行き先」だけの問題ではありません。大切なことは、そこへ行って自分は何をするのか、どんな生活をするのか、そして、それをその先の将来へとどうつなげるのかということなのです。

例えば、**高校の評判やランクや偏差値などは、自分の「生き方」には本来関係ないのです。**そんなもので自分の価値や将来は決まりません。それを決めるのは自分自身の意志と努力なのです。そこへ行って自分がどう生活し、どう生きるのか、ということが大切なのです。冬休み、今やるべきことに全力で取り組んでください。しんどいかもしれませんがクラスや学年の仲間もみんな同じ立場です。きっと支え合えるはずですよ。

★さて今回は、先日、新聞で見つけた中学生の投稿文を紹介します。♪

<読書で広がる「想像力」>

毎日新聞「みんなの広場」より

読書をすると世界が広がる、と聞いたことはないだろうか。世界が広がるというのは、想像力が広がるということだと思う。読書を通じていろいろな人になれる、違う世界を想像したりすることができる。

私は川村元気さんの「世界から猫が消えたら」で不思議な世界を思い描くことができた。主人公と悪魔が、世界からモノが消えていったらどうなるかと考えていくストーリーだ。時計が消えたら、本が消えたら、私が打ち込んでいる陸上競技が消えたら…。私はこの本に出合わなかったら、そんな世界を想像することはなかっただろう。

今の勉強は知識を得るだけではなく、それを活用できるか、使いこなせるかという応用力も問われている。読書で得られる想像の世界から物事を深く考え、発想を豊かにする力を鍛えることができる。それが応用力につながっていくのではないか。だからこそ、現代に読書が大切だと言われているのであり、推進されなければならないと思う。(中学生 15歳 東京都)

*一冊の本は、自然に私たちを想像の世界へ導きます。たまに挿絵はあっても、映像やバーチャルはそこにはありません。文章から、自分なりにその情景を思い浮かべたり、登場人物の姿や性格を勝手に心に描いたり、主人公と自分を重ね合わせてみたりします。

与えられた「映像」ではないからこそ、読み手一人ひとりの個性や違いが尊重されるのです。一人ひとりの想像力が豊かになっていきます。

いつも言うように、例えば人の気持ちを想像する力が豊かになれば、自分がその立場だったら・・・と想像する力があれば、「いじめ」などは起こるはずがありません。例えば、10年先20年先の世界を考える想像力があるならば、地球温暖化などの対策ももっと進むでしょう。

与えられたゲーム等のバーチャルの世界に浸るのではなく、読書や人とのコミュニケーションを通して自分自身の想像力をしっかりと磨いてほしいと思います

3年生はいよいよ自分の「進路先」を決めなければなりません。前述したように「行先」だけにこだわるのではなく、卒業後の自分がどんな生活を送りたいのか、将来どう生きるのかについて、想像力を駆使してほしいと思います。

★始業式は1月7日（火）です。

冬休みも規則正しい生活を心掛け、できれば「読書」にも親しみ、何より健康に気を付けて、始業式にみんな元気に集合しましょう！！

2学期Pick up「Try Japanese」(字数の関係で、多少、省略をしたりしています。)

<p>★温暖化防止のため欧州では飛行機などの利用をやめる人が増えていることについて</p> <p>○日本は遅れている。この記事を読んでそう思った。地球温暖化への意識が低すぎるのではないか。飛行機だって車だって乗りたいときに乗る。別に一人だったらいいだろう・・・そう思って。私はその考えがだめだということを改めて感じた。欧州にそういう動きが見られるなら、日本でも出来るはずだ。まずは自分が始めようと思う。車の利用を減らし自転車で移動する。旅行はできるだけ電車を使う。一人だったらという考えを消して、一人でもやればという考えにしていきたい。(3年)</p>	<p>★虐待死について</p> <p>○驚きよりも正直「またか」と思った。私は親に大切に育ててもらっていて虐待というものを本当の意味では分かっていない。でも虐待のニュースを見ていると、もし自分の親にこんなことされたらと考えるとそれだけで苦しくなる。自分より小さな子たちが虐待を受けて亡くなっているということを知るたびにこんな思いをする子がいなくなっしてほしいと思う。自分の子の命を責任をもって大切に育ててほしい。(3年)</p>	<p>★ラグビーワールドカップ</p> <p>○今回の日本でのラグビーW杯はたくさんの人の思いが詰まったものだということを感じました私は準々決勝を含めた日本の五試合を全て観ましたが、相手の大きな体に向かっていく姿はカッコいいと思いました。試合が終わった後もお互いをたたえ合い観客席へのあいさつをする等、人を敬う精神がもっと日本人に伝わっていったらと思います。私も人の為に動き、敵も味方も認め合えるような人になりたいとW杯で思うことができました。(2年)</p>
<p>★同性婚について</p> <p>○私は同性婚はいいと思う。なぜなら、本当に愛し合っているなら性別は関係ないと思うからだ。異性のことが好きな人の方が多くだけで、同性のことが好きな人はおかしくもなれないと思う。テレビに出ているような人たちも、テレビでは楽しそうにしているが、そこまでくるまでに様々な偏見や差別をされてきたのではないかと思う。同性愛者が普通に受け入れられるようになるといいなと思う。(3年)</p>	<p>★香港での反政府デモ</p> <p>○この香港の若者たちがやっていることは正しいことだと私は思います。力で支配し、香港の人達の意見を聞かない中国政府は、統治する側として間違っていると思います。まずは香港の人達の意見を聞き、言葉で解決していくべきだと思いますそしてお互い落ちついて関係を回復していかなければならないと思います。(3年)</p>	<p>★すし職人は偏見のせいで女性が少ない</p> <p>○私もおすし屋さんになりたいからこの記事がとても気になった。なぜ女性がおすしを握ると味が落ちるって言われるのかよく分からない。男子が握ろうが女子が握ろうが、気持ちがこもっていたら別がいいと思う。私はおすし屋さんになりたい。おすしのことをいっぱい知って、気持ちをこめて握って、みんなに最高のおすしを届けたいと思う。(3年)</p>
<p>★スマホではなく、本を読む楽しさについて</p> <p>○私はこの前こんな光景を見ました。レストランに家族でご飯を食べに来ているのに全員スマホ。電車で友達数人と出かけるのに全員スマホ。こんな光景を見たお母さんは「なんか寂しいな」と言いました。私もお母さんの言葉に共感しました。今の時代、スマホを触ってしまうのはしょうがないと思うけれど、家族や友達と会話することが大切だと思います。そして一人の際には、スマホばかり触るのではなく、読書するのも良いと思います。スマホでは得られない感動を読書で得てほしいと思います。(3年)</p>	<p>★スポーツ選手の不正なドーピング</p> <p>○なぜスポーツ選手はドーピングをしたがるのでしょうか。最近すごくニュースで取り上げられています。勝って成績を残したいのは私でも分かります。しかし不正をして勝つのは間違っていると思います。努力し続けて勝つのは「これまで努力し続けてきてよかった」と思えるが、不正をして勝っても何もうれしくないし、気持ちよくないです。私は不正行為をしている人を絶対に許しません。(2年)</p>	<p>★読解力の世界順位が落ちたことについて</p> <p>○私は、これから先、読解力をつけることはとても必要だと思います。今の若者の読解力が低下した原因は、SNSの普及だと思います。本を読む機会が少なくなっていると感じます。だから私たちは今、この「トライジャパニーズ」で読解力を鍛えています。もちろんこの取り組みは大切だと思いますが、読解力は自分がつけたいと思わなければ身に付かないと思います。無理やりではなく、自分の意志で学ぶのが一番良いと思います。(3年)</p>

